

選抜制度	日 程	研究科	専 攻	科 目	
一般	Ⅱ 期	国際学研究科	国際学専攻	外国語(日本語)	
受験番号		氏 名			採 点

I 次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

数日前まで、中学受験生の親だった。

中学受験は「算数で合否が決まる」と言われる。解法の暗記では太刀打ちできず、習得に時間がかかる上、1問あたりの配点が大きいため点差が開きやすいなど、さまざまな理由を耳にした。

「つるかめ算」「ニュートン算」といった特殊な解法を始め、親が教えられるレベルはとうに超え、我が家も最後まで苦しんだ。だがそれ以上に悩まされたのは、無意識に植えつけられかねないジェンダーバイアスだった。

「××女子中の算数は男子校なみに難しい」「女子は立体図形が苦手だから」など、「呪い」としか思えない言葉が講師の口から出るたびに、「娘の前ではご勘弁を！」と心の中で叫んでいた。

算数の能力に男女差がないことは、さまざまなデータが示している。一方で模試の結果をみると、男子の方が平均点が高く、その差は学年が上がるにつれ開いていった。呪いの言葉の刻印はかくも深いのか。ずっとモヤモヤしていた。

金沢大教授で学校教育を専門とする米田力生さんが、教員志望の男子学生と女子学生とでは数学の教え方に違いがあると気づいたのは、数年前のことだった。

「模擬授業をやらせてみると、男子学生の多くはいきなり定理など抽象概念から入ります。一方で女子学生は、ほとんどが身近な具体例を用いながらストーリーとして説明します。どうすれば生徒たちがその分野に興味や関心を持つか、その導入方法がまったく違うのです」

米田さん自身、最初は「そこまで具体例に落とし込まなくても」と女子学生の教え方に違和感を覚えたそうだ。しかし次第に「彼女たちは、本当はこういう授業を受けたかったのだ」と気づいた。

数学教師を目指すのだから、米田さんのもとに集まる女子学生は数学が得意だった人が多い。それでも話を聞いてみると、ほとんどが抽象的な内容の単元で挫折した経験を持っていた。その定理や数式が実際に何に使われているのかを独自に調べ、何とか関心を持とうと努力をした子も少なくないという。

「今の学校の授業で要求されるのは『いかに試験で点数を取るか』。抽象概念をどんどん教え、ゲーム感覚で解いていく『男子型』授業の方が効率的です。でもそういう教え方一辺倒だと、数学に関心が持てない生徒もいる。これは問題だと思っています」

理系に進む女性が少ない理由に、ロールモデルの少なさやジェンダーバイアスが影響していることが指摘されてきた。だが米田さんの話を聞きながら思った。「教え方」も重要ではないか。

昨年末に公表された国際調査では、「算数・数学の勉強は楽しい」と回答した女子の割合は男子より10ポイント以上低く、平均点も男子より低かった。

脳の働きは性差より個人差の方が大きいとされるから、一律、男女で教え方を変えるべきだとは思わない。ただ受験競争が過熱する中、1点でも高い点数を取るための教え方が「是」とされる価値観が変わらなければ、数学に苦手意識を持つ生徒は減らないのではないか。

選抜制度	日 程	研究科	専 攻	科 目	
一般	Ⅱ 期	国際学研究科	国際学専攻	外国語(日本語)	
受験番号		氏 名			採 点

ある中学校の先生が以前、共学と別学とでは教え方も微妙に異なると話していた。共学より女子校の方が理系への進学熱が高いとされる背景には、こんな要因もあるのかもしれない。

全国の新中学1年生が数学の楽しさを教えてくれる先生に出会えますように。数学に挫折した大人として、切に願う。

(岡崎明子「数学、1点でも高く? 彼女たちがうけたかった授業は」『朝日新聞』
2025年2月8日朝刊、承認番号25-0551、無断転載禁止)

【設問1】 この文章を400字以内で要約しなさい。

【設問2】 この文章に対するあなたの意見を400字以内で書きなさい。

Ⅱ 次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

かなり以前、ある大学の研究室につとめている女性が私を訪ねてきました。用件は働く母親としての言いぶんを聞いてほしいというのです。自分は私立保育園に四歳の娘をあずけて働いている、日中は離ればなれのため母子で過ごす時間がなかなか持てないという悩みから話は始まりました。

せめて家にいるときぐらいは心おきなく子どもと絵本を見たり遊んだりしたい。それで、だから公立だろうと私立だろうと保育園では完全給食にすべきであるというのです。

彼女は夕方五時に子どもを保育園から連れ帰って食事を作ると、夜、子どもが寝るまで家事雑用はやらないで相手をする。子どもはひるねをしてくるからなかなか寝てくれない。寝ついてからがやっと自分の時間になるので、どうしたって夜ふかしをしてしまう。でも早起きしてお弁当を作らなくてはならない。おかげで慢性の睡眠不足になやまされている。ゆえに、お弁当を作るために早起きするのは、働く母親の健康上はなはだよろしくないのです、完全給食にしてほしいわけです。

もう一つは、洗たく物の家庭への持ち帰りはなくしてほしいということ。保育園での子どもの汚れ物は、園で洗うべきである。せつかくの日曜日が洗たくに追われ、絵本もろくすっぽ読んでやれない。洗たくにかかる一分一秒が惜しい。母と子のふれあいを守るからこそ、働く母親の権利ではないかと、その人は熱っぽく主張して賛同を求めました。

当時の私は保育士と作家と仕事を二つ持つ身で夜ふかしは当たり前、毎朝のお弁当作りもしていました。それでこの化学専攻というインテリお母さんの言いぶんには驚き、うなずけませんでした。

選抜制度	日 程	研究科	専 攻	科 目	
一般	Ⅱ 期	国際学研究科	国際学専攻	外国語(日本語)	
受験番号		氏 名			採 点

私も毎晩子どもに本を読んでやってはいましたが、せいぜい三十分足らずで、お茶を飲んでおしゃべりして、テレビでも見ていれば、あっという間に過ぎてしまう時間です。子どもと本を読む時間なんて、こちらが怠^{なま}け心を起こしさえしなければ、忙しくたって何とかひねり出せるし、子どもも満足してくれます（でも、こちらが相手になっていればいつまでだって目をさましていました）。

せっかくの休日にしても、朝から晩まで我が子と一緒に絵本を読んだり遊んだりしてやるなんてうんざりです。それよりも洗たくのほうがましと思います。子どもの一週間分の生活の匂いと汚れのしみこんだ物を盛大に洗って乾かし、ほころびはつくろって「さあ、また一週間、たのみますよ」と用意してやることも立派な愛情のしるしです。

それに、保育園から子どもが持ち帰る物はすべて点検しなくてはなりません。離れているあいだの子どもの様子を知っておくためにです。ひるねの寝具、上ばきやスモックの汚れ具合、いたみ具合は子どもがどれだけ元気に遊んだかを知るバロメーターですから見て確かめる必要があります。

お弁当だって、母親が身近にいてやれないぶん、心をこめて一所懸命作れば、愛情と誠意を形にあらわせます。子どもはだまっているけれど、洗たくにしても、お弁当にしても、お母さんが自分のためにいろいろとやってくれることをよく知っていて、結構、嬉しく思っているのです。

その喜ぶ様子はお母さんといっしょのときよりも保育園にきているときにはっきりわかります。お母さんが手をかけてくれたものなら何でも、たとえズボンのつぎ当てだって自慢のタネになりました。まさに別れてこそ知る母の愛といった感じで、幼い子がお母さんを思う気持ちがどんなに強いのか、お母さんたちにはちょっと想像つかないでしょう。とりわけ子どもたちがお弁当を開くときの嬉しそうな表情といたら天下一品でした。また、おひるねのときはお母さんが洗ってくれたシーツや枕カバーに頬ずりしています。

もしクリーニング店から配られたシーツやカバーだったら、さぞかし味気ないものになるでしょう。子どもは匂いに敏感です。

幼い子から見ると、一日いっぱい相手をしてくれるお母さんなんて、たいしたことありません。子どもには子どもの生活があるのですから、大人の干渉のないところで自由に遊べるほうがありがたいはず。それよりも、家族のために何かやっているお母さんの姿に安心がいくのではないのでしょうか。

(中川李枝子「貴重なおまけ」『本・子ども・絵本』)

【設問 1】 この文章を400字以内で要約しなさい。

【設問 2】 この文章に対するあなたの意見を400字以内で書きなさい。

No. 4

選抜制度	日 程	研究科	専 攻	科 目	
一般	Ⅱ 期	国際学研究科	国際学専攻	外国語(日本語)	
受験番号		氏 名			採 点

[illegible] (25×16) [illegible]
$$(25 \times 16)$$

2025年度 共立女子大学大学院 試験解答用紙

No. 5

選抜制度	日 程	研究科	専 攻	科 目	
一般	Ⅱ 期	国際学研究科	国際学専攻	外国語(日本語)	
受験番号		氏 名			採 点

II 設問 1

[illegible]

(25 × 16) ◀ 400字

II 設問 2

[illegible]

(25 × 16) ◀ 400字